

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

『常識は変わる』

プロ野球開幕！！

と言っても、ここ数年(数十年！?)は、「いつの間に開幕してたんだ…」程度で特になにか感慨にふけるようなことも無かったのですが、今年は、自分と同世代の監督が新しく誕生！ということで、例年より関心を持って見えています(監督になる年代だということを感じつつ)。

先日、プロ野球中継を出かける準備をしながら見ていると解説者(話題のKKコンビのお一人)がこんなことを言っていました。

「現在のプロ野球の世界でゴールデングラブをとるためには、『逆シングル』で捕球できる技術が必要である」

野球を知らない人にはナンノコッチャだと思うのですが、ゴールデングラブとは、各リーグ(セリーグ・パリーグ)全球団の選手の中で、守備が高く評価された選手たちに与えられる賞のことです。守備の達人としての称号とも言えます。



私の少年時代(小学2年生から地域の野球チームに入り、日々白球を追っていました)では、この捕り方をすると監督から「こらっ(´Д`)ノそんな捕り方するな」と言う言葉が飛んできました。当時は「ボールは身体の正面で捕る」が常識でした。逆シングルという捕球の仕方は、その常識とは真逆の捕り方を言います。常識は変わったのです。

解説者は、言っていました。

「野球チームの指導者の方も現状を踏まえた指導をして欲しい」

2020年、大学入試改革がスタートします。これまでの知識偏重主義が変わると言われています。たくさんの知識を持っていること、処理スピードが速いこと、こうしたことが入試を成功させるための常識でした。その常識が通じなくなるのです(私は、知識を持つこと、処理能力の高さが問われなくなるのではなく、それらの能力を根底としたオリジナルの発想法と発信する力が要求されるようになると思っています)。

子どもが育つ環境は、時代の変化と同じく変わります(大人が生きていく環境もですが)。

指導の仕方も、子どもへの対応も、いつも新鮮で時代に沿ったものを目指さねばなりません。

年齢とともに肉体は衰えていくのですが(まだまだバリバリ元気です!)、考え方はいつもピチピチで、常識にとらわれることのない、柔軟さを持ち続けていこうと思います。

教室の風景

ワクワク探検

4月になり、近所でもピカピカのランドセルを背負った小学生やおろしたての制服を着た学生達をたくさん見かけます。

我が家の長女も高校に入学し、新しい生活が始まりました。電車やバスを使つての通学に少々お疲れ気味ですが、早速帰りにいろいろと寄り道をして楽しんでいるようです。勉強も頑張ってもらいたいのですが、学生時代の友達は一生の友達になることも多いので、まずはそういう友達を作ってほしいと思います。

教室にも小学校に入学した生徒がいて、入学式の話などが聞かれます。私の子供達が通っていた小学校は、1年生の最初のイベントは学校探検でした。図書室に音楽室、図工室に家庭科室、理科室、保健室と、幼稚園や保育園にはないたくさんの教室を見て回るのは、まさに探検のようで、子供達もワクワクするのでしょう。私自身も理科が好きだったので、理科室に並ぶ標本や実験器具に興味したのを覚えています。

まなびの広場の教室は、学校のようにたくさんの教室はありませんが、たくさんの引き出しや箱の中には、いろいろなブロックやパーツがあります。棚に並ぶ作品を見ると、作り方や仕組みの参考にもなります。教室に来て自分の作品を仕上げるだけではもったいないので、レッスンが始まる前や終わった後に、ぜひとも教室探検をしてもらいたいな~と思います。(知らない箱を開けるとときや、他の生徒の作品を見てみたいときは、先生達に一言言ってからにしましょう!)



インストラクター 宇賀神薫美



4月作品紹介



(左上)「ジャンボジェット機」

(左下)「てこを利用したボールゲーム」

(右)「巨大なトンネル」